学校番号	１００７

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	美術Ⅱ						
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の意図を大切に作品制作し、各々の個性に合った表現を模索し、掘り下げます。
作品の制作、展示、発表などを通して、他者との関わりをつくります。授業の中では、制作途中、完成後等に合評会を設けます。自分の作品や在り方についての理解を深めると同時に、他者の作品にも目を向け、味わい共感しましょう。

２　学習の到達目標

- 美術の創造活動を通して美的感覚を洗練し、表現と鑑賞能力を高める。
- 美術についての理解を深め、美術を愛好する心情を育てる。
- より一人一人に合った表現の方法を模索し、造形力を身に付ける。
- 美術を通して自分と他者との関わりを大切にする姿勢を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術を愛好し、美術文化に関心をもち、個性豊かに意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫する。	個性豊かに創造的な表現をするために材料、技法を活用して表現する技能を身に付けている。	心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きや美術文化などを理解し、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1ターム	自画像と手	自画像と手 ・自分の顔を鏡でよく見ながらデッサンし、特徴をつかむ。 ・アクリル絵の具を使って淡彩で描く。 ・鑑賞会	○	○	○	○	a:対象を観察して表現することに関心を持ち、主体的に主題を形成し、形態や色彩などを創意工夫して、意欲的に描こうとしている。 b:対象を観察し、主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d: 友だちの作品のよさや工夫していることについて,自分なりの意見や感想を文章にまとめることができる。	制作の様子 制作途中の作品 作品 学習活動の様子 鑑賞ワークシート
	色彩構成	色彩構成 ・モチーフの特徴を観察し、複数枚デッサンする。 ・デッサンで掴んだモチーフの要素を使って、構成を考える。 ・アクリル絵の具で着色する。	○	○	○		a:対象を観察して表現することに関心を持ち、主体的に主題を形成し、形態や色彩などを創意工夫して、意欲的に描こうとしている。 b:対象を観察し、主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

第2ターム	仮面作り	仮面作り アイデアスケッチ 骨組み 和紙貼り付け 着色 プレゼンテーション	○	○	○	○	a:身近な生活や自己の思い、用途と美しさを考えて仮面を制作することに関心を持ち、主体的に発想して作品の構想を練ったり、制作方法を理解し、創意工夫して制作したりしようとしている。 b:感性や想像力を働かせて自然や素材、身近な生活や自己の思いなどから心豊かに発想し、用途と美しさの調和を考えて表現の構想を練っている c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	鑑賞レポート	夏休み中の課題 高校展鑑賞レポート				○	d:作品のよさや美しさ、作者の心情や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考え方などを持っている。	鑑賞ワークシート
第3ターム	展開する形	展開する形 アイデアスケッチ 作図 切り取り 貼り付け 振り返り	○	○	○	○	a:問題(課題)についての理解。柔軟な発想による解決力。デザイン制作プロセスの理解及びその実践。 b:極力無駄を省き、シンプルでわかりやすいデザインで制作。独創的でユニークな形の展開となるよう発想し、構想している。 c:切り絵の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:作品のよさや美しさ、作者の心情や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考え方などを持っている。	制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

第4ターム	ペン画（ゼンタングル）	ペン画（ゼンタングル） ・ゼンタングルのパターン練習 ・作図 ・ペン入れ	○	○	○		a:ペンによる表現に関心を持ち、主体的に主題を生成し、線やパターンの連続による効果などを創意工夫しようとしている。 b:主体的に主題を生成し、ペン表現の特性を生かし、パターンの連続による効果などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:ペンの特性を理解し、意図に応じて特性や効果を生かしながら主題を追求して表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。